

令和8年度「健やかな体」育成プログラム

学校番号：35504

学校名：北野台中学校

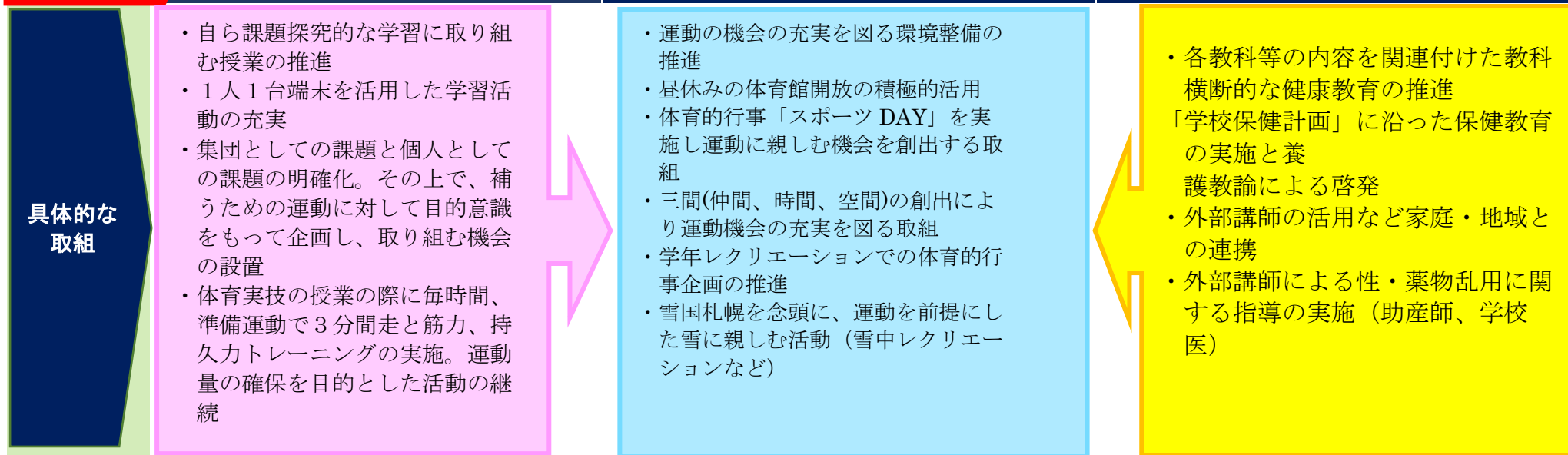
令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査 結果		分析
体力・運動能力 <男子>	○全国平均を上回った種目 握力、上体起こし、立ち幅跳び	○全国平均を下回った種目 長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、ハンドボール投げ
体力・運動能力 <女子>	○全国平均を上回った種目 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横跳び、50m走、立ち幅跳び、ハンドボール投げ	○全国平均を下回った種目 20mシャトルラン
運動・スポーツへの意識、運動習慣	<p>「運動が好き」、「やや好き」の回答割合は男子92.9%、女子80.0%、「保健体育の授業は楽しい」、「やや楽しい」の回答割合は男子96.4%、女子88.5%である。(令和7年度)</p> <p>「1週間の総運動時間数」において、男女ともに全国平均を上回っている。</p>	

筋力、筋持久力といった要素は高い結果となった。一方で、持久力や柔軟性、敏捷性といった身体を上手に扱う能力について課題がみられる。

20mシャトルランの平均値のみ全国平均と比較して大幅に下回る結果となった。他の体力要素は高い結果となったことから、学校の授業以外での日常的な持続的運動の機会が少ないと考えられる。

・運動やスポーツについて肯定的に捉えている生徒が多く、特に女子生徒についてはそれが結果に反映されていると考えられる。一方で運動する場所や友人がいないが運動しない理由として挙げられているため、三間の創出が課題になってくる。

三つの取組	①体育・保健体育等の授業の充実	②授業以外で子どもの運動機会を創出する取組	③子どもが自ら健康の保持増進を図る取組
-------	-----------------	-----------------------	---------------------



家庭・地域との連携・協働	<ul style="list-style-type: none"> ○中学校保健体育科教諭による小学校高学年の授業の実施 ○除雪ボランティアの推進
--------------	--

